

品 名	三菱産業用エアーカーテン	台 数	
形 名	MK-3575TA4	記 号	

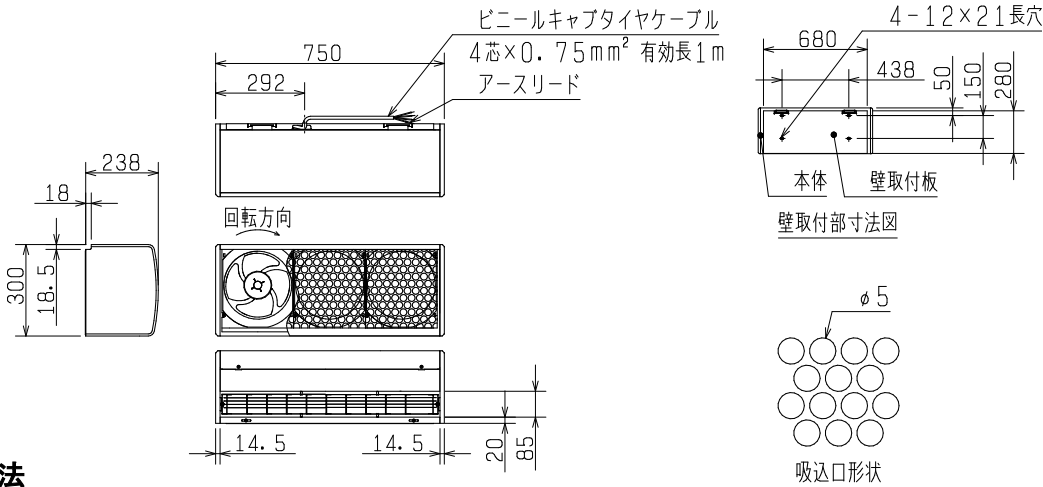
電 源		3 相 200V			電 動 機 形 式	全閉形3相誘導電動機 E 種 2 極		
羽 根 形 式		プラスチック軸流羽根(直径 210mm)			色 調 ・ 塗 装 仕 様	本体外装: マンセル 0.7Y8.6/1(近似色) ポリエステル粉体塗装		
絶 縁 抵 抗		10MΩ 以上(500V 絶縁抵抗計)						
本体周囲空気条件 搬 送 空 気 条 件		温 度 -10℃～+45℃ 屋内 相対湿度 90%以下(常温)			耐 電 圧	A.C 1500V 1 分間		
仕様・ 特性表	周波数 (Hz)	風量 (m³/h)	電流 (A)	消費電力 (W)	平均吹出風速 (m/s)	騒音 (dB)	起動電流 (A)	質量 (kg)
	50	1880	0.76	191	8.5	66	2	17

※風量は、JIS B 8330 オリフィスチャンパー方式による静圧 0 Pa 時の値です。
※騒音は本体吹出口側中心位置より斜め 45°、1.5m の点における値です。

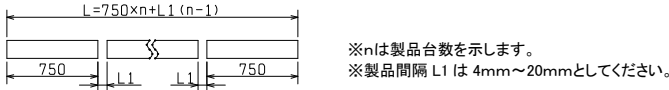
■お願い

※1, 2 ページ目の注意事項を必ずご参照ください。

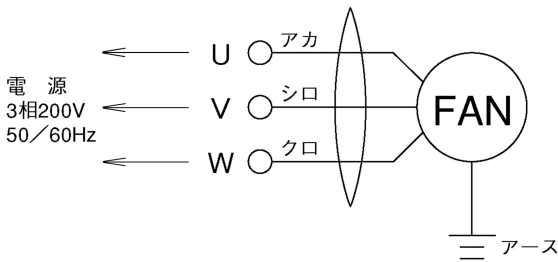
■外形図



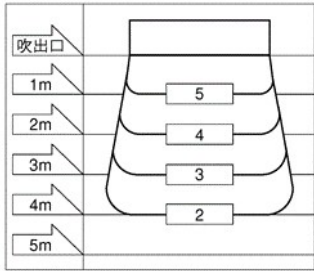
■連続据付寸法



■結線図



■到達風速分布



※1 図中の口内の数字は各距離における平均風速(m/s)をしめします。
※2 図中の風速は室内外の圧力差、温度差、外風などによる影響がない自由空間における測定値です。そのため、床面付近の風速は図中数値と異なります。

■注意事項

＜使用環境及び使用条件＞

- この商品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また日本国外ではアフターサービスもできません。
- エアーカーテンは屋内用です。
- 使用周囲温度・湿度は必ずお守りください。記載されている範囲を超えますと、焼損、変形、回転不良、破損につながるおそれがあります。また、次のような場所には据付けしないでください。
 - 屋外 ・塩害地域 ・冷蔵庫、冷凍室など結氷するおそれのある場所 ・酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
 - 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのある場所 ・油煙や蒸気の多い場所
 - 繊維工場、製陶工場など多量の綿埃や、砂塵、粉塵の発生する場所
- 商品に付着した埃等が落下した場合に問題となる場所に据付けしないでください。

第 3 角図法	単 位	尺 度	作 成 日 付	品 名 形 名	産業用エアーカーテン MK-3575TA4		
	mm	非比例尺	2025.12.16				
三菱電機株式会社				整理番号	N25KBGD0134-50 (1/2)	仕様書	

品 名	三菱産業用エアーカーテン	台 数	
形 名	MK-3575TA4	記 号	

■注意事項＜使用環境及び使用条件のつづき＞

5. 商品の改造はしないでください。故障の原因となるおそれがあります。
6. エアーカーテンを壁据付又は埋込据付する場合は、吸込寸法を確保してください。（下記据付例参照）
7. インバータ運転を行う場合は、三菱送風機用インバータをご使用してください。三菱送風機用インバータ以外を使用しますと異常な振動、共振、騒音等が発生するおそれがあります。
8. エアーカーテンを使用する場合、出入口をエアー遮断しますので、室内は必ず換気（第一種換気）を行ってください。
9. エアーカーテンでは、虫の侵入を完全に防止することはできません。

＜据付及び電気工事＞

1. 本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
2. 漏電ブレーカを設置してください。火災・感電のおそれがあります。
3. モータの焼損防止のため、モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー（過負荷・欠相保護形））の過負荷保護装置をご使用ください。過負荷保護装置は機器 1 台ごとに取り付けてください。過負荷保護装置の選定は電流値の 1.2 倍を目安にしてください。
4. モータに安全装置として、温度ヒューズが内蔵されています。拘束、過負荷運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合には上記安全装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので電源を切り原因を取り除いてください（再運転の場合には、モータを交換してください）。
5. 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行ってください。また、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電線管用金属製ボックス及びボックスカバー」内にて行ってください。
6. 電源接続を間違えますと正常な運転ができなくなり、場合によってはモータが焼損する等のおそれがあります。スイッチ・プラグ等への接続は確実に実施してください。
7. 必ず D 種接地工事を実施してください。感電のおそれがあります。
8. 雨垂れの危険のある所では建物側に防水処理をしてご使用ください。
9. 修理等で特別な足場が必要になる場合は、お客さまの費用負担となります。あらかじめご了承ください。

＜定期点検及び保守管理＞

1. ご使用前・ご使用中に異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。
- 長年ご使用の送風機ではモータ、コード、コンデンサ等の電気部品の経年劣化により発煙・発火に至るおそれがあります。

■据付例

壁据付の例

壁取付板
(付属品)

35mm以上

80mm以下

コンクリート壁・鉄柱・鉄柱の場合

①取付ボルトを壁面より 15mm 程度出るように固定してください。

②壁取付板を付属のワッシャー・スプリングワッシャーおよびナットにて確実に固定します。

天井据付の例

天吊金具
(別売 システム部材)

35mm以上

80mm以下

①天吊金具を固定部の材質に見合った据付方法で確実に固定します。

②天吊金具の取付ボルトに壁取付板を付属のワッシャー・スプリングワッシャーおよびナットにて確実に固定します。

天井を落とし込む例

35mm以上

150mm以上

80mm以下

天井面

※埋込据付を行うと騒音が上がります。

ユニバーサルレジスターまたはレターングリルを使用する例

仕切板
(お客様手配)

天井面

35mm以上

80mm以下

150mm以上

W

X

Y

L ≥ X + 20mm

10mm以上

80mm以下

仕切板
(お客様手配)

ユニバーサルレジスター
(お客様手配)

ルーバー

＜天井開口寸法＞

≧

L

W

※必ずエアーカーテンがユニバーサルレジスターまたはグリル内に収まるように配置してください。

※ユニバーサルレジスター、レターングリルは短寸方向にルーバーのあるものをご使用ください。

※X、Y寸法は外形図を参照ください。またL、W、H寸法はグリルメーカーにお問合わせください。

※仕切板は必ず設けてください。

※ユニバーサルレジスター、レターングリルを使用する場合、表示値の風速が確保されないことがあります。

※埋込据付を行うと騒音が上がります。

第 3 角図法	単 位	尺 度	作 成 日 付	品 名 形 名	産 業 用 エ ア ー カ ー テ ン MK-3575TA4		
	mm	非比例尺	2025.12.16				
三菱電機株式会社				整理番号	N25KBGD0134-50 (2/2)	仕様書	